教育委員会定例会（平成２０年４月）会議録

１　日　　時	平成２０年４月３日（木）　１４：３０　～　１５：３０
２　場　　所	新居浜市市民文化センター別館４階　大会議室
３　出　席　者	委員長　栗田敬子 委　員　小野正師　　宇野征一 教育長　阿部義澄 事務局長　池内貞二 総括次長　日野　清 次　長　真鍋智明　　高橋康文 課　長　近藤清治　　佐野家達 館　長　坂本睦美
４　教育長の 一般報告	（１）３月分行事報告及び４月分行事予定について
５　記録者氏名	社会教育課　日野　里美
６　会議の概要	＜専決処分の報告＞ 報告第５号　新居浜市教育委員会事務局処務規則及び新居浜市障害児就学指導委員会設置規則の一部を改正する規則の公布について 報告第６号　新居浜市教育委員会事務局等事務決裁規程の一部を改正する規程の制定について

栗田委員長	それでは定刻がまいりましたので、平成２０年第４回新居浜市教育委員会定例会を開催いたします。会期は本日限りといたします。本日の会議録署名委員は、小野委員さんと宇野委員さんにお願いいたします。平成２０年第３回の定例会の会議録のご署名は、小野委員さんと宇野委員さんにいただいております。 それでは教育長さんの一般報告からお願いいたします。
阿部教育長	それでは、一般報告を行います。資料の２ページをご覧ください。３月の主な行事についてご報告いたします。 １０日　臨時校長会を開催し、平成２０年度の教育委員会取組方針「２１世紀に生きる子どもたち」の説明を行い、新年度の教育計画の中での具現化を依頼しました。 １１日～１３日までの期間、３月議会の本会議が開催され、代表質問や一般質問が行われました。今議会では、１１名の議員さんから質問を受けました。主な質問といたしましては、公民館の運営、いじめ問題、別子銅山記念図書館、教育施設内の禁煙、発達支援準備室、今治養護学校新居浜分校の高等部の設置、学校給食、社会福祉士の人材活用、人権文化の創造、食育、とっておきの新居浜検定等についての質問がありました。 １３日　平成１９年度新居浜市体育協会顕彰規定に基づく表彰式がありました。長年にわたり、それぞれの分野で指導者として活躍と大きな功績をたたえて贈られる体育特別賞の「小野麓賞」に田中元宣氏、「三浦義男賞」に三田泰次郎氏と伊藤武徳氏、「高橋満年賞」に平木弘一氏が表彰されたのをはじめ、体育功労賞、優秀指導者賞、各種スポーツ賞、スポーツ特別賞など、約１００組の個人・団体に贈られました。今後の本市の体育振興のため、ご尽力をお願いするとともに、各分野での活躍を期待したいと思います。 １４日　福祉教育委員会が開催されました。 １５日　第２３期新居浜市体育指導委員協議会総会が開催され、平成１９年度の事業報告・決算報告並びに平成２０年度事業計画の審議や予算案の審議が行われました。 １７日　市内中学校での卒業式が厳粛な雰囲気のもとに、心あふれる内容で儀式が執り行なわれました。市内全体で、１，１３１名が卒業していきました。 １８日　新居浜工業高等専門学校でＧＰ地域連携プロジェクト型ものづくり活動の成果発表交流会が多くの参加者を得て開催されました。多喜浜小学校教諭小根国由紀先生、東中学校教諭近藤栄一先生が、日頃の授業の工夫点について発表されました。 １９日　新居浜工業高等専門学校の第４２回卒業式・第１５回専攻科修了式が文化センターで執り行なわれ，１９１名が卒業、２２名が

	修了いたしました。信頼される社会人、信用される技術人としてさらに成長を期待したいと思います。 　新居浜市安全・安心のまちづくり協議会が開催され、部会の報告や意見交換が行われました。 　２０日　国道１１号新居浜バイパス開通を記念して、今回供用される区間の中央分離帯に記念植樹が行われました。この植樹は親子が一緒に人生の記念の意味を込めて行うと共に、二酸化炭素削減のために樹木を植え、環境にやさしいまちづくりに取り組むもので、約４００人が参加し、１００本の苗木にメッセージを添えて植えました。１０年後の姿を楽しみにしたいと思います。なお、２２日にはオープニングイベントが行われ、泉川中学校の徳田さんが、力強く決意表明を行いました。泉川保育園の鼓笛隊や東田保育園のかわいい太鼓台がパレードを盛り上げ、お祝いの餅つきでは、泉川中の生徒が地元住民と汗を流し、泉川小の児童も花を植えるなど、子ども達が地域社会で活躍することが地域活性化の原動力になることを改めて感じました。 　２１日　本会議が開催され、各委員会の委員長報告等がおこなわれました。 　２４日　市内小学校での卒業式が温かい在校生のことばの中で執り行なわれました。市全体では、１，１３０名が小学校課程を終えました。 　２５日　公立小・中学校で修了式が行われ、子どもたちは次年度の進級への思いを春休み中に培ってほしいものです。 　２９日　市制施行７０周年記念植樹が、地球温暖化防止を願って、大生院で行われました。春を待つ素晴らしい天候のもとで、小学生などの親子連れでの参加者が、桜やケヤキなどが植樹し、想いをつづった木札をつけているほほえましい風景を、垣間見ることができました。 　３０日　第３２回愛媛県選抜珠算選手権大会が開催されました。この大会は、全日本珠算選手権大会および全四国珠算選手権大会に参加する県支部選手を選考する大会であり、小学２年生から成人までの約１５０人が、県下各地から参加し、張り詰めた緊張感が漂っていました。 　３１日　長年お世話になりました３名の方々が退職されることになりました。大変ご苦労様でした。 　４月１日　平成２０年度が開始されました。平成２０年度人事異動に伴う辞令交付式が執り行なわれ、新たな陣容で教育委員会事務局が出発することになりました。 　その他　４月の主な行事予定について報告を申し上げます。 　４日　新規採用教員着任式 　６日　市民歩け歩け大会

	８日　公立幼・小・中学校第１学期始業式・小学校入学式 　　児童生徒を守り育てる日 ９日　中学校入学式 １０日　幼稚園入園式 １１日　学校予算配分説明会 １２日　第４１回にいはま春の市民文化祭２４日まで １４日　第１回小中学校長研修会 １６日　教科・教科外主任会 １７日　管内校長研究協議会 １８日　教育功労者表彰式 ２２日　全国学力・学習状況調査 ２５日　第１回教頭研修会 ２６日～２７日　市長旗争奪中学校選手権大会 以上で、一般報告を終わります。
桒田委員長	ありがとうございました。ただ今の教育長さんの一般報告について何かご質問、ご意見はございませんか。 それでは、卒業式に出られた方に、ご感想を伺いたいと思います。
小野委員	はい。私は船木中学校と金子小学校の卒業式に参加をさせていただきました。 まず船木中学校は、来賓の方がたくさん来られていました。３０名以上いたと思います。さすが船木は校区で学校を支えているなという第一印象を受けました。卒業式では、女の子だけではなく男の子も泣いておりました。純朴な子どもたちが多いのかなと改めて感じました。 金子小学校の卒業式には初めて参加させていただきましたが、舞台の前にきれいな花が並べられていた事、「君が代」を大きな声で歌っておられていた事、子どもの「はい」という返事が非常に大きな声で素晴らしかった事に感心いたしました。今回初めて気付いたのですが、卒業証書の授与の時に子どもの名前を読み上げますが、ある担任の先生は、名簿の名前を見ずに子どもの顔を見て読み上げていたのを見て、素晴らしいなと感じました。卒業式というのは、子どもが嬉しい場なのと同時に、先生方にとっても子どもに対しての１年間の思いを伝える場なのかなと思いました。それと細かい事ですが、祝電等は普通文面から読んで最後に名前を言うのですが、まず送っていただいた方の名前を読み上げて、それから文面を読んでおりました。また、先生方から届いたものは、全部読まれていました。そして、子どもたちが卒業証書をもらった後に保護者の席まで歩いて行って親に向かって頭を下げておられたことに感動いたしました。最近「蛍の光」「仰

	げば尊し」は歌われなくなってきておりますが、退場の時にかかったので、我々の年齢としては何となく安心した卒業式でした。以上です。
阿部教育長	私は、新居浜小学校へ行きました。新居浜小学校では、子どもたち一人一人が、これまでの学校生活や、これからしたい事を、マイクを使わず地声で発表していました。小野委員さんも言われましたが、教師に名前を読み上げられると、どの子も「はい」と体育館中に通る声で返事をしていました。そして、自分の目標や気持ちを伝えて卒業証書をもらいに行っていました。私も名前を呼ばれたら大きい声で返事をするよう心がけていますが、来賓紹介の時に名前を呼ばれても黙って立つという姿の人も見かけました。学校現場では、名前を呼ばれたら返事をするというのは、一つのマナーではないのかと思います。子どもたちが出来る事は大人にも出来ると思います。普段から「あいさつ運動しましょう」と言っていますので、儀式だからと言わないで、名前を呼ばれたら「はい」という返事をするという文化も定着させていく必要があるのではないかと思います。あの素晴らしい子どもたちが、ずっとこのままでいて欲しいものだと思いました。
真鍋次長	私は、神郷小学校の卒業式へ出席しました。感心したのは、在校生も卒業生も最初から最後まで姿勢が非常によかった事と大きな声で返事をしていたことです。素晴らしい卒業式でした。
宇野委員	私は、泉川中学校と中萩小学校へ行かせていただきました。 泉川中学校は、終始落ち着いた雰囲気で、卒業生は大変立派でした。「蛍の光」と「仰げば尊し」は歌われなくなりつつあるのですが、両方とも歌っていました。やはり名曲だなと素直に思いました。卒業生は、泉川中学校の校歌を高らかに歌い、にこやかに巣立って行きました。 そして中萩小学校は、始まる前から水を打ったように静まり返っていて、全体が緊張している感じでした。卒業生もそうですが、在校生も１時間半の間よく辛抱し、立派だったなと思いました。教育長さんも言われましたが、卒業証書を渡す時にそれぞれ名前を読み上げるのですが、前日も当日の朝も練習しただろうなと思うぐらい、腹の底から張り上げてこちらの背筋が伸びるような返事を、小学校も中学校もしていて感動しましたが、どちらの学校も来賓紹介時の大人の返事の声が小さかったです。子どもたちがあれだけ頑張っているのだから、大人はせめて子どもたちの半分ぐらいの声で返事をしていただけたらよかったなと感じました。以上です。
桒田委員長	ありがとうございました。

栗田委員長	私は西中学校と金栄小学校に行かせていただきました。 西中学校は噂では聞いていたので楽しみにしていたのですが、歌声が大変素晴らしく大きな体育館いっぱいに響き渡るほどでした。男の子たちの声がまたよく聴こえて、あそこまで素晴らしい歌声を聴いたのは初めてだったので、思わず手を叩きそうになるほどでした。「蛍の光」も、「仰げば尊し」も歌われて、ＣＤに残しておきたいと思うほどでした。挨拶もきちっと出来ていました。式が終わった最後に「お父さん、お母さん、先生ありがとうございました」という自分たちなりの思いを込めて歌を歌っておりました。泣きながら感謝の言葉を言って、それを見た皆が感動して涙々の卒業式で素晴らしかったです。 そして金栄小学校は、特色ある学校づくりで花づくりをされている学校なので、プランターがきちっと手入れされていて、さすが花づくりをされている学校だなと思いました。先ほどのお話にもありましたが、新居浜小学校と同じように、一人ずつこれからの決意を大きな声ではっきりと四文字熟語で表現して述べていました。南中学校の先生と、これだけの決意表明をした子どもたちが、中学校でもこのままいくといいですねと話しました。本当に素晴らしかったです。小学校では「蛍の光」、「仰げば尊し」は歌わなかったのですが、感動的だったのが、卒業生が校舎を出て行く時に、校舎の上から、音楽の先生の伴奏のもと、教頭先生と若い先生がトランペットで「蛍の光」を演奏し、子どもたちを見送ったことです。これもとても感動いたしました。以上です。 先ほど教育長さんの一般報告で言われました、高専のＧＰものづくり活動成果発表交流会ですが、小学校と中学校の先生方が結構参加されていました。段々と高専との連携が取れている状況を見まして、できればもっと活用していただきたいなと思います。高専で作った実験などで使う装置も貸出可能として下さっていますので、それを小学校の先生が授業で利用してくれたらなと思います。理科専科の先生がいない学校もあるようなので、出来るだけ活用して、理科が大好きな子どもたちを伸ばしていっていただきたいなと思っております。 続きまして、専決処分の報告に移ります。報告第５号 新居浜市教育委員会事務局処務規則及び新居浜市障害児就学指導委員会設置規則の一部を改正する規則の公布について、ご説明お願い致します。
日野総括次長	はい。７ページをご覧下さい。 ＜資料に基づき説明＞
栗田委員長	発達支援準備室ができる事に伴う改正という事でございます。何かご質問はございませんか。 では、報告第６号 新居浜市教育委員会事務局等事務決裁規程の一

	部を改正する規程の制定についてお願いいたします。
日野総括次長	では１０ページをご覧ください。 ＜資料に基づき説明＞
栗田委員長	ありがとうございました。こちらも発達支援に関する事でございますが、何かご質問はございますか。 以上で専決処分の報告について終わります。では、その他についてお願いいたします。
阿部教育長	はい。まずは良い報告からいたします。全国学生競書展で第５２回毎日全国学生競書展がありまして、多喜浜小学校の吉岡楓さんが、文部科学大臣賞を受賞しました。
栗田委員長	全国で最高賞とはすごいですね。
阿部教育長	次に、平成２０年度が始まるという事で、この会の前に、教育委員会の副課長以上が集まりまして平成２０年度の教育長ミッションとして、私の教育委員会の仕事への取組みについての思いを語らせていただきました。その資料をお手元にお配りしております。４月１４日の校長会でも再度宣言したいと思っております。尚、教育委員会取組方針「２１世紀に生きる子どもたち」を土台に、このミッションを宣言したいと思います。ご意見等ありましたらお聞きいたしますのでよろしくお願いいたします。
栗田委員長	わかりやすいご説明をありがとうございました。またゆっくり見させていただきます。
阿部教育長	続きまして、定例教育委員会資料（生徒指導関係）をご覧ください。新居浜市教育委員会関係の最重要課題である、不登校の問題についてです。平成１９年度、３０日以上欠席した子どもが１２２名おりました。今年、新居浜市内の小中学生は１０，４９８名です。割合にすると１．１６％です。昨年４月当初は３桁を切りたいという思いだったのですが、結果的にこのような状況となりました。どういう取組みがいけなかったのか、他にやるべき事はなかったのかを考えていきたいと思います。この事については、後で真鍋次長から話があると思います。昨年度と比べると、小学校が昨年９名だったのが１１名、中学校が１０７名だったのが１１１名となっております。お手元に、平成１９年度出席状況が好転した児童・生徒の資料があると思います。３０日以上欠席者はすべてカウントされます。そこへ約１０名の資料があ

	りますので、ご覧下さい。 ＜資料に基づき説明＞
真鍋次長	ただ今教育長が説明されましたが、残念な事に人数的には減少になりませんでした。小学生は１１名という事で増加傾向にあったのですが、小学校の教職員の意識では今まで病欠という見方をしていたのが最近は不登校という見方になり、研修を受けたりして前向きに取り組んでいました。学校に行きづらくなった生徒の意識調査を保護者にもアンケートを実施しました。後でじっくり読んでいただくとわかると思いますが、アンケートの内容が非常に充実しておりまして、全ての先生方に役立つ資料になっていると思います。ですから、今年度スタートした際にじっくり読んでもらって、実際そういった状況になった時に非常に参考になる資料であると認識してもらうように説明していきたいと思っております。このアンケート調査につきましては、前回の定例会でも少し説明しましたが、不登校児童生徒と保護者へのアンケートですので、回収がどうしても難しい面があります。そのため、今年度はこれらの見直しをしようと思います。１８年度アンケートを集める時は担任の先生が直接行ってもらったりしていたのですが、今回はあくまでも児童生徒と保護者の意思を尊重して郵送で実施したところ、小学校はほとんど集まったのですが、中学校は少なかったという状況です。やはり悩んで苦しんでいる家庭にとっては、迷惑であるという意識もあります。ですから今年度は、全体的な反省から新たな調査と、好転した児童生徒に視点を絞ってアプローチを考えております。２０年度の取組みとしては、未然防止に重点を置き、教育委員会より学校や、教頭会、生徒指導指会や担任者への指導を考えております。 中一ギャップではないですが、特に小学校６年生と中学１年生に焦点を絞り、時期的には１学期から夏休みや９月の運動会あたりと重点的に対応をして取り組んで行こうと考えています。また、小・中学校との連携強化を図ります。不登校予備軍と言いますか、１ヶ月に２日以上休んでいる子どもたちをみんなが共通認識してみんなが知って関わっていけるような、予備軍の子どもたちへの働きかけと保護者との人間関係作りを２０年度は取り組んでいこうと考えております。２０年度の取組みとしては未然防止に重点を置き、あらゆる会で各学校の方にも細かく依頼していきたいと思います。以上です。
栗田委員長	ありがとうございました。
宇野委員	いい資料で参考になりますね。

阿部教育長	最初の調査対象のところを見て下さい。まず、１月末に実施しましたので、１２月末で３０日以上欠席いる子どもを対象にしました。欠席している小学生７名、中学生９９名で、小学生の７名のうちの子どもと保護者が回答してくれたのが６名です。ほとんど回答してくれました。中学生９９名のうち、生徒からは２０名、保護者からは２４名の回答がありました。保護者がどういう思いをしているのか。恐らく小学生の頃から、不登校ぎみであったのではないかと推測されます。中学生になっても回復しないという事から、この２４名の保護者が、ひょっとしたら行き詰まっているのではないのかという思いもします。この問題に関わって行く時、保護者の心を開くような手立てを考える必要があると思います。子どもは当たり前なのですが、保護者も支えていく必要があるのではないかと感じました。５分の１の回収率というの、もしかしたら仕方がないのかなと諦めているのか、行き詰まってしまって答える気力も無いのか、この回収率の意味を学校現場で直接関わっている担任や学校長も考えていく必要があると思いました。
栗田委員長	親の会というのは非常に重要な意味があると思います。それによって色々な対応もできて、行き詰まっている子どもたちの雲も晴れるという事もあると思います。引きこもっている子が殺人まで犯したというようなセンセーショナルで非常に悲しいニュース等が流れているのを見る度、親としてはすごく心配になってくる、また犯罪に即結びつくのではないかという不安の声も聞きました。社会全体的に言うと、青少年におけるそういった事件自体は減っているのですよね。でも報道でああいった取り上げられ方をすると、自分の子どもが殺人者になってしまうのではないかと不安を抱いてしまうというような事も伺っておりますので、親も支えていただきたいと思いますが、それを学校の先生に望むのは現実的に難しい部分があるかと思います。また今後検討していかなければいけないと思います。 この間、不登校だったのが高校生になって学校へ行き出して、大学に進学した子に会ったのですが、彼女は大学生活をすごく有意義に過ごしていると言っていました。オール優の成績も見せてもらいました。長い目で見た時には、成長していくのだなという気持ちを抱いております。ここで諦めずに、その子たちを長く見守っていただけるような、社会的に何か手立てはないのかなと思います。これは教育委員会だけの問題ではなくて、行政としてバックアップできるものがあれば、していただきたいと思います。
小野委員	質問ですが、資料に中学校の生徒の回収率が２０％、保護者が２４％、提出方法は家庭訪問時に配布し家庭訪問時に回収とあります

	が。
栗田委員長	１９年が家庭訪問で、２０年は郵送です。
阿部教育長	そうです。１９年は学校の教師が行って質問をして集めました。
小野委員	はい、４０％あまりあったと書かれていますね。
阿部教育長	今年はプライバシーであるとか、あまり聞かれたくないという意見もありましたので、郵送という形を取りました。学級担任がそういった事を伝えて実施したところ、返答は、生徒が２０名、保護者が２４名という結果です。
小野委員	この回収率は、寂しいですよね。我が子の事だから無関心という事では無いのでしょうけども。
阿部教育長	無関心とは取りたくないので、私は「悩んでいる」と思っています。先ほど栗田委員長さんも言われていましたが、学校によっては、親の会を立ち上げているところもありますが、未設置の学校もありますので、教育委員会から呼びかけてみるという事も今後一つの方法ではないのかなと考えております。親を支え、そして子どもも支えてもらうという事も必要ではないのかと考えております。
宇野委員	もう少し回収率が高かったら信頼できると思うのですが。学校は、この資料を真剣に受け止めて欲しいと思います。例えば「どのような悩みや心配がありますか」という問いに、「プリント、教材などを遅れずにきちんと届けてほしい」とある一方、「級友がプリント類を届けてくれるのをやめてほしい」とあるように、その子たちそれぞれの精神的状態や人間関係の状況が表れていると思います。学校はこういった内容をもう一度見直してもらいたいです。ややもすれば、無神経で気を配れていなかったという部分があるかもしれません。以前、プリント1週間分をドッとまとめて玄関に置いておかれたという話を聞きました。クラスメイトの中には、来て欲しい子もいるけれど、来て欲しくない子もいるという事もあるので、この内容を、教育現場はしっかりと理解して活かして欲しいと思います。
真鍋次長	一人一人の子どもに合った指導という事で話した時に、やはり担任一人が抱え込むのではなく、その子に関わっている先生のチームのような相談体制を、徐々に広めていきたいと考えております。

栗田委員長	ありがとうございました。では、図書館からお知らせをお願いいたします。
坂本図書館長	先ほどチラシを配らせていただきましたが、４月２９日に「おひざにだっこのおはなし会」を開催いたします。現在、図書館ではブックスタート事業を実施しております。保健センターの５ヶ月検診の際に絵本を通じて子どもと触れ合の時間を持っていただきたいということで絵本をプレゼントする事業です。そのフォローアップ事業として、お母さんが乳幼児に、絵本の読み聞かせや、ベビーマッサージをするといった内容です。 もう一つご案内させていただきます。学校図書館支援員の派遣という事で、平成２０年度から４名の方たちを図書館から小学校の図書館へ派遣して、本来あるべき学校図書館にするために、図書館の方で支援する事業を始めております。現在、学校は入学式等の準備でまだ落ち着いていませんので、来週あたりから学校へ派遣し支援していきたいと思います。平成１９年度に別子を除いた全ての学校はこちらから出向いて現状調査済みですので、重点的に図書館の事業としてやっていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。
栗田委員長	１９年度の調査の報告をしていただいてもよろしいでしょうか。
坂本図書館長	現状といたしましては、中萩小学校のように昔から司書の方がいて本を整備されている学校もありますが、専任の先生がいなくて整備されていない学校がほとんどです。いろいろな状況の中で、私達ができるような手入れをしたいと思っております。まず、古い本がたくさんありますので、それを整理して、子どもたちが使いやすいような表示をすることから始めたいと思います。
栗田委員長	よろしくお願いします。
阿部教育長	いじめに関する調査ですが、資料をご覧下さい。３月は小学校ではありませんでしたが、中学校では３件のいじめが報告されております。昨年の４月からの累積で、小学校が４３件、中学校が２９件子どもと学校側が認知しております。合計７２件について解消しているという報告がきております。
栗田委員長	３月に発生した３件も、３月中に解消できているのでしょうか。
阿部教育長	はい。次に不審者情報ですが、３月末現在で、２３件の不審者情報を出しました。１８年度は３５件で、１７年度は５０件と非常に多か

	ったのですが、見守り隊やＧＰＭの組織が作られて、またあいさつ運動や安全パトロール中というステッカーを貼った車が約６００台近く出ているおかげで、１７年度の約半数になったのだと思います。今後も気を付けなければいけないのは、体を触ったり腕をつかんだりというのが９件で、半数近くとなっていることです。 昨年２回見守り隊活動の方にお集まりいただき、どのような課題があるだろうかという話し合いの場をもちました。今年度も続けていきたいと思います。
栗田委員長	ありがとうございました。まだまだ安心できない状況というのは非常に悲しいです。小学校の先生に伺いますと、基礎・基本を身につけさせるために学校に残して個別指導をしていた時代があったのに、今は不審者の事件が発生する事で出来なくなったそうです。基礎・基本を身に付けさせることの難しさも言われていました。学校だけではなく、社会全体が安心安全であればいいのですが。 不審者情報の件数も減ってきていますし、地域の方々の熱心な見守り活動に感謝します。それなのに、何故不審者が発生するのかなと悔しい思いもあります。 その他何かございますか。 それでは、次回５月の定例教育委員会は、平成２０年５月８日（木）１６時からです。場所は後日連絡をよろしくお願いいたします。 以上をもちまして本日の会議を終了させていただきます。ありがとうございました。 新居浜市教育委員会会議規則第５４条の規定により署名する。 委員名 委員名